

報 告 書

2012年 8 月 1 日

望月厚司 様

議員名 佐藤成子

下記のとおり、政務調査費による海外視察を実施したので、ご報告します。

1 日 時	21012年7月22日（日）～7月25日（水）	
2 視 察 先	(1) 視 察 先 施 設 等	韓国 麗水市：麗水市役所・麗水万博会場 釜山市：釜山朝鮮通信使歴史館・釜山博物館
	(2) 対 応 者	麗水市世界博覧会支援団 麗水市役所博覧会支援課長 李 魯澈氏（イ ノチョル） 支援課 朴 永鐘氏（ボク エイショウ） 唐津市企画経営部東アジア戦略推進室 主査中山尚人氏 21012年麗水博覧会 日本館 館長 町田克己氏 朝鮮通信使歴史館 釜山文化財団 国際文化交流チーム 金 明潤氏（キム ミョンコン） 釜山博物館 日本業務 柳 順女氏（リュウ サンネオ）
3 目 的	麗水市は人口30万余の都市。この地で開催されている万博の、開催に至るまでの経緯や経済効果を探る。韓国に、開催して、経済効果以外にもたらしめているものは何か？あと20日余りの開催を残しての成果等を検証する。朝鮮通信使の歴史を振り返り、この文化的国際交流の意義や平和外交の大切さを習得する。	
4 内 容	(調査事項・調査結果を具体的に) 事前学習（予備知識） “国際博覧会” 世界博覧会・万国博覧会・国際博・万博・万国博とも呼ばれ、国際博覧会条例（BIE条例）に基づき行われる複数国が参加する博覧会の事を言う。複数の国が参加した、公衆の教育を主たる目的とする催しで、文明の必要とするものに応じるために人類が利用する事が出来る手段又は、人類の活動の一つもしくは、複数の部門に於いて達成された進歩もしくは、それらの部門における将来の展望を示す事を目的に開催される博覧会である。第4回のパリ万博博覧会ではあのエッフェル塔が建設されている。 “開催するには”	

開催を希望する政府が博覧会国際事務局（B I E）に申請（立候補）し、総会で承認されれば可能だ。国際博覧会は、会場の規模やテーマなどから、“登録博覧会”と“認定博覧会”に大別されている。以前は、一般博と特別博に区別されていた。日本で最初は、日本万国博覧会（大阪万博）これは一般博で、2005年の愛知万博は登録博覧会。この間の沖縄海洋博・つくば万博・花の万博は特別博であった。2年前の上海万博は登録博で、この麗水市の国際博覧会は認定博覧会である。

**麗水市役所⇒麗水万博の概要を伺う・団長の挨拶・訪問団長挨拶
博覧会支援課長 李 魯澈氏 博覧会支援課 朴 永鐘氏**

訪問有難うございます。世界博覧会開催を機に、3つの市が合併して、人口30万都市になった。海岸を挟んで、360もの島々があり、まとまったものとしては、アジアで最大の石油化学団地がある。水産業が盛んで、港の整備も進んでいる。小さな都市だが、世界博覧会を通して、世界に向けてこの都市を宣伝していく。万博終了後、麗水市は、漁業団地・工業団地にプラスして、レジャースポーツ市を目指すので、跡地は、海洋レジャー施設として活かしていく。現在9カ国13都市と交流を深めている。日本の唐津市とは姉妹都市で行政の人的交流も行っている。今回の参加国は104カ国。さまざまな展示館があります。本日、麗水市の海岸・湾が、世界第4位の“美しい港”の宣言を行う予定です。麗水市の多様なところを味わってください。と歓迎の言葉を頂き、訪問団を代表して望月団長が返礼しました。

上海のエキスポを訪問し、各国の進展ぶりを知った。今回の麗水市の万博は、ネットで知り、唐津市を通じて訪問する事が出来ました。昨日釜山に3時頃着き、車でここ麗水市まで来ましたが、旧市街地、街の発展ぶりに驚きました。又、万博会場までの開発されているアクセス道路（高速道路）などの整備・麗水市大橋のすばらしさに驚きました。国力を感じました。昨夜は、新鮮な魚も頂きました。

静岡市は10年前清水市と合併し、人口70万都市となりましたが、世界各地の姉妹都市・友好都市と人や文化、教育、産業などの交流をやっています。これからもよりこれらの交流を深めていきたいと思っています。短い滞在になりますが、さまざまな点で勉強して帰りたいと思います。本日はありがとうございました。

韓国はテジョン博覧会に次いででの開催。国の補助1億ウォンでインフラ整備が行われた。1988年合併し、小さな所で無駄があった。生き残るために、地域を活性化させるために、麗水市のまちづくりのために、万博開催を目指した。7年間頑張った。上海万博の際は決勝で開催地選考に漏れた。当初、国は開催地立候補を、相手にしなかったが、市民の情熱が国を動かし、開催にこぎつけた。この博覧会の目標入場者数は800万人。ジャッパデーの日は、唐津市の市民が800人以上来ている。唐津

くんちの再現がされた。現在駐在中の唐津市職員中山さんは、17人目の職員交流とのことだ。20年前までは博多間の貨物船が就航していたとの事だ。

麗水万博視察

日本館 館長 町田克己氏

樹木の生い茂る「森」や人々の生活する「里」を含めた大きな自然の連環を守りながら、「海」と共生していく技を積み上げてきた日本人。日本館は、東日本大震災の際に世界中から寄せられた支援への感謝の気持ちを表すとともに、災害から立ち上がり、未来に向かって歩む日本の姿を世界に発信しています。この内容を、童話のショーとして上映しています。

優しいメルヘン物語に仕上げられていて、生々しい津波の映像はありませんでした。展示物は日・韓・英の3カ国標示。点字パンフレットもあり、おもてなしの精神が伝わりました。

韓国館と日本館、ドイツ館、中国館は行列が出来ていて入館に時間がかかりました。他のアジア、アフリカ等のパビリオンは割とすんなり入館できました。全体的に、地球環境、自然との共生をテーマにしている、代替エネルギーなども提案されていました。そこかしこにある風力発電、ビル丸ごと緑化、噴水等々。海・水・森の大切さを喚起していました。韓国館の360度オーロラビジョンは圧巻でした。

釜山朝鮮通信使歴史館

釜山文化財団 金 明潤氏

“朝鮮通信使について”

江戸期の日朝交流は豊臣秀吉による文禄・慶長の役の後、断絶していた李氏朝鮮との国交を回復すべく、日本側から朝鮮側に通信使の派遣を打診したことにはじまる。江戸時代の約300年間に12回日本を訪れているが、その内10回の行列は、ここ駿府を通過したといえます。善隣友好・平和外交の立役者、徳川家康は、清見寺の住職が実践したようにお互いの伝統や文化を理解し、認め合い、尊厳を見つけていくことこそ大切と考えて実践したのです。朝鮮通信使は、釜山から船に乗り、対馬から瀬戸内海を通過して淀川に進み、大阪で船を乗り換え京都に上陸し、東海道を江戸まで上り、将軍に拝謁し国書を交換し、また下がるという工程でした。行列は、朝鮮国「正使」「副使」「従事官」の3使をはじめ「楽人」「舞人」「医者」「僧侶」等500名ほどで、これに日本側の役人、荷役の者などが加わり1000人から2000人を超える賑やかな行列だったと記されています。

朝鮮通信使の行った歴史的な価値ある事を、友好のために、その内容を、映像で紹介している。タッチパネルを使いわかりやすく、興味が湧くような

工夫がされている。昨年教育現場として再建された。体験学習を通して、子供たち（中学生・高校生）に、国と国との平和外交の大切さを教える・歴史を学ぶ場としている。奥の建物は、5月の通信使祭りで、建て増しをしたところです。来月は姉妹都市・下関市とのアリラン祭りで交流するとのことだ。ここの管理運営は、釜山文化財団・国際文化交流チームが行っている。市長が理事長とのことだ。

釜山博物館

釜山博物館 日本業務 柳 順女氏

釜山博物館は1978年7月の開館で、30年に以上の歴史があります。毎年発掘、寄贈、購入をし2500点以上の遺物が増加し、現在約30,000点を管理していて、その内の1300点を常時展示しています。2002年には第2展示館が開館し、釜山の歴史と文化を中心に、展示構成を全面改編。10個の常設展示室のほか、企画展示室、文化体験館、文化情報探索室等を備えました。この博物館には、釜山近代歴史館や臨時首都記念館等が専門博物館として傘下にあります。ここでは、釜山の時代別の分化様相を同うことが出来ます。又、韓・日の関係史、そして、釜山の生活文化、民俗、近、現代の姿を見る事が出来ます。

駅建設で発掘された、秀吉時代の戦いの様子や、慶長の役の話、そして、朝鮮通信使を通して徳川家康が韓国で重んじられていた事、加藤清正の話等、日・韓の長い歴史の関わりを詳しく説明いただきました。

5 成果・市政への反映等

麗水市の万博博覧会開催にこぎつけるまでの情熱は素晴らしいものだと思います。30万都市での開催ですから、静岡市でも、手を挙げる事は可能だと思います。東京のオリンピック開催運動?ではありませんが、国を動かす情熱をどうやって醸成する事が出来るかだと感じています。人の集まる静岡市にするための一つの選択肢の提案になると思います。将来的にG8の開催を考えていると市長は言っています。その開催場所まで頭におありのようですが、万博開催は、いかんせん、静岡市域で場所探しが、まず大変です。でもこれから先、10年ぐらいかけていけば、藤枝、島田、牧ノ原なども含めた100万経済圏で考えられない訳ではないと思います。日本での、登録万博は難しかもしれませんが、認定博覧会なら可能なのではないだろうか。この事を意識しながら、静岡市のインフラ整備を進めてほしいと思った。

朝鮮通信使、日・韓の歴史考察について、悲しい歴史があるのも事実ですが、消すことのできない、負の遺産をいつまでも語るのではなく、将来を生きる若者に向けて、展望の方を大きく伝えていきたいものだ。徳川家康の善隣友好・平和外交を見習うべきではないか。お互いの歴史、文化を理解し、認め合い、その尊厳を認めていくべきではないのだろうか。静岡祭りで再現

された朝鮮通信使の行列から、華やかな文化伝統が伝わってきました。是非、徳川家康没後400年祭には、釜山から皆さんを招聘し、(200人ほどの行列参加者の100人分をこちらの負担)より深い日・韓交流が出来ることを期待します。静岡在住の方々も加わり華を添えてほしいものです。またこれが、一過性で終わるお祭りではなく、本当の意味での国際交流に発展していくことを望みます。もちろん民間レベルで行うのは言うまでもありませんが、これら400年祭のような節目の年には、行政とのコラボが必要と考えます。大御所400年祭は、朝鮮通信使フェアやシンポジウムなど、静岡市大御所400年祭推進室を設置し大々的に行われましたが、一過性に終わらせないでほしいとしつこく議会でも訴えましたが、今現在、どのような事が継続されているかはっきりしません。あのお祭りが少しでも継続して、没400年に繋げられるものがあるならば、ぜひ活かしたいものです。これもおもてなしの一つと思いますが、日本語の話せる韓国人の多い事に驚きました。公的な機関ではもちろん、一般的な所でも感じました。翻って、日本人はどうでしょうか？静岡市は？中国語や韓国語、タガログ語や他のアジア各国の言葉の訓練が必要と思いました。安心のおもてなし、ホスピタリティーに繋がります。国際交流協会では会話教室を開設しているのは承知していますが、もう少し拡大できないでしょうか。

発展著しい韓国や中国。若者の教育等とても積極的です。日本の若者は、少し消極的になっていると思います。ならざるを得ないのかもしれませんがもう少し、隣国を意識させる必要があると、万博に来ている若者の姿を見ながら思いました。